

- 問1 幕末の政治動向において、江戸幕府が「公武合体」の政策を推進した主な理由として、最も適切なものはどれですか。 （2024年 和歌山県公立入試 類似）
1. 朝廷を政治の実権から完全に排除し、幕府が単独で外国勢力を排除する攘夷の体制を整えるため。
 2. 天皇を中心とする新しい政治体制へ移行するため、幕府が自ら政権を朝廷へ返上する準備を行うため。
 3. 薩摩藩や長州藩などの有力な藩の勢力を抑えるために、朝廷を武力で威圧し幕府の命令に従わせるため。
 4. 開国や大老の暗殺によって揺らいだ幕府の権威を、朝廷と結びつくことで補強し、政治の安定を図るため。
- 問2 幕末に「尊王攘夷」を掲げていた薩摩藩や長州藩が、後にイギリスなどの欧米諸国と接近し、倒幕（幕府を倒すこと）へと方針を転換させた直接的な理由として最も適切なものはどれですか。 （2025年 愛知県公立入試 類似）
1. 産業革命の進展によって日本国内に鉄道や郵便制度が整備され、武士による政治の継続が困難になったため。
 2. 日米和親条約の締結によって不平等条約の内容がすべて改正され、外国を排除する必要がなくなったため。
 3. 廃藩置県が行われたことで藩という組織自体がなくなり、天皇を中心とする新しい地方統治の仕組みが完成したため。
 4. 薩英戦争や四国艦隊下関砲撃事件を通じて、欧米諸国の圧倒的な軍勢力を思い知り、武力による攘夷は不可能だと悟ったため。
- 問3 幕末の社会混乱を描いた資料の中には、人々が「ええじゃないか」と唱えながら町々を熱狂的に踊り歩く姿が記録されています。この騒動の背景と特徴について説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 （2026年 千葉県公立入試 類似）
1. 鎖国体制を維持しようとする江戸幕府を支持するために、都市の住民が攘夷の決意を固める目的で行ったデモ活動であった。
 2. 明治政府が推進した文明開化の政策を歓迎し、新しい文化を受け入れるために民衆が自発的に始めた祝祭であった。
 3. 社会の仕組みの変革を求める民衆の期待と、先行きの見えない不安が入り混じった世直しの動きの一つであった。
 4. 廃藩置県によって自分の領地がなくなることに反対した武士たちが、農民を扇動して起こした政治的な反乱であった。
- 問4 1867年、江戸幕府の第15代将軍である徳川慶喜が、倒幕派による武力討伐の口実をなくすために政権を朝廷に返上した出来事を何といいますか。 （2022年 熊本県公立入試 類似）
1. 大政奉還
 2. 版籍奉還
 3. 廃藩置県
 4. 公武合体
- 問5 大政奉還が行われた背景やその後の歴史的経緯について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 （2026年 千葉県公立入試 類似）
1. 徳川慶喜は武力による討幕を回避するために政権を朝廷に返上したが、直後に明治天皇が政権の樹立を宣言したことで、幕府は完全に消滅した。
 2. 大政奉還によって江戸幕府は解散したが、土地や人民は依然として旧藩主たちが支配しており、これらは後の版籍奉還まで維持された。
 3. 大政奉還は徳川家が引き続き政治の主導権を握るための策であったが、これに反対する岩倉具視らが廃藩置県を断行して幕府を排除した。
 4. 当時の浮世絵に描かれるような社会不安の中で、民衆は武士主導の政治に反発しており、それに応える形で将軍が自ら権力を放棄した。
- 問6 幕末から明治維新にかけての歴史的出来事のうち、日米修好通商条約が締結された1858年より後であり、かつ薩英戦争の原因となった生麦事件（1862年）よりも前に起こった出来事として適切なものを選びなさい。 （2024年 山形県公立入試 類似）
1. 渡辺華山らが弾圧された蛮社の獄
 2. 大老の井伊直弼が暗殺された桜田門外の変
 3. 諸藩の土地と人民を天皇に返還させた版籍奉還
 4. 徳川慶喜が政権を朝廷に返した大政奉還
- 問7 1858年に日本がアメリカと結んだ日米修好通商条約には、日本にとって不利な内容が含まれていました。そのうち、日本国内で罪を犯した外国人を、日本の法律ではなくその国の領事が自国の法律で裁く権利を認めたものを何といいますか。 （2016年 山形県公立入試 類似）
1. 最恵国待遇
 2. 関税自主権
 3. 領事裁判権
 4. 租借権
- 問8 倒幕運動が激化する過程で、それまで対立関係にあった薩摩藩と長州藩が、坂本龍馬らの仲立ちによって結んだ協力関係のことを何と言いますか。 （2026年 愛知県公立入試 類似）
1. 日米和親条約
 2. 日英同盟
 3. 薩長同盟
 4. 尊王攘夷運動
- 問9 日本において水野忠邦が天保の改革を進めていた1840年ごろ、世界史の年表において同時期に位置づけられる東アジアの出来事として正しいものはどれですか。 （2022年 青森県公立入試 類似）
1. イギリスが清に勝利して南京条約を結び、香港の割譲や5つの港の開港を認めさせたアヘン戦争
 2. 日本が清に勝利して下関条約を結び、台湾の領有や多額の賠償金の獲得を認めさせた日清戦争
 3. キリスト教の教えをもとに「太平天国」を樹立した農民たちが、清の打倒を目指して起こした大規模な反乱
 4. ロシアの南下政策を阻止しようとするイギリスとフランスが、オスマン帝国を支援して黒海周辺で戦ったクリミア戦争
- 問10 イギリスが清との貿易赤字を解消するために構築した、19世紀前半の貿易の仕組みについて説明したものとして、最も適切なものを次の中から選びなさい。 （2017年 長崎県公立入試 類似）
1. イギリスの茶を清へ直接輸出し、その代金として清から大量の銀を得ることで、インドに対する綿織物の購入資金に充てた。
 2. インドで生産された絹織物を清へ輸出し、清からイギリスへ直接支払われる銀の流れを止めることで、清の経済を圧迫させた。
 3. イギリスの綿織物をインドに売り、インドから清へアヘンを輸出させることで、代金としての銀が清からインド、そしてイギリスへと流れるようにした。
 4. 清から輸入した茶をインドへ転売し、その利益でインド産の綿織物を購入してイギリス国内に流通させることで、銀の流出を防いだ。
- 問11 井伊直弼が日米修好通商条約の締結や将軍の跡継ぎ問題をめぐって、幕府の方針に反対した大名や武士らを厳しく処罰した出来事を何といいますか。 （2022年 青森県公立入試 類似）
1. 蛮社の獄
 2. 桜田門外の変
 3. 大政奉還
 4. 安政の大獄
- 問12 江戸幕府が日米修好通商条約で開港を約束した「兵庫」について、幕府は実際には兵庫そのものではなく、隣接する特定の場所を開港しました。その場所は、当時は人家がまばらな村でしたが、開港後は急速に発展し、現在の日本を代表する国際貿易港となりました。この場所の名称として正しいものを選びなさい。 （2022年 栃木県公立入試 類似）
1. 神戸
 2. 堺
 3. 尾道
 4. 門司
- 問13 1850年代の外交史において、アメリカ側に食料や薪水（しんすい）の提供を認めた日米和親条約の4年後に、大老の井伊直弼によって調印され、函館や神奈川などの港を開いて自由な貿易を認めた条約の名称として最も適切なものを選びなさい。 （2017年 滋賀県公立入試 類似）
1. 日米和親条約
 2. 神奈川条約
 3. 日清修好条規
 4. 日米修好通商条約

答え合わせ・解説

問1	答え 4 開国や大老の暗殺によって揺らいだ幕府の権威を、朝廷と結びつくことで補強し、政治の安定を図るため。	日米修好通商条約の無効許調印や井伊直弼の暗殺といった事態により、幕府の統治能力に対する不信任が高まっていました。そこで幕府は、当時の権威の象徴であった朝廷から承認や協力を得ることで、幕府中心の政治体制を維持し、幕府打倒を掲げる尊王攘夷派の動きを抑制しようと試みたのがこの政策の背景です。
問2	答え 4 薩英戦争や四国艦隊下関砲撃事件を通じて、欧米諸国の圧倒的な軍勢力を思い知り、武力による攘夷は不可能だと悟ったため。	長州藩や薩摩藩は当初、外国船を砲撃するなど激しい攘夷を実行しましたが、その報復として受けたイギリスなどの軍事攻撃により大敗を喫しました。この経験から、旧来の装備では外国に太刀打ちできないことを痛感し、単なる外国排除よりも、まず幕府を倒して近代的な統一国家を築くべきだという考えに至りました。その後、彼らは敵対していた外国から武器を購入するなど、現実的な路線へと舵を切りました。
問3	答え 3 社会の仕組みの変革を求める民衆の期待と、先行きの見えない不安が入り混じった世直しの動きの一つであった。	「ええじゃないか」の騒動は、幕府の権威が衰え、新しい時代への転換期であった1867年頃に発生しました。これは民衆の間で高まっていた「世直し」への渴望や、現実の苦難から逃れようとする熱狂的な心理が結びついた現象であり、幕末の社会的な混乱をさらに加速させる要因となりました。
問4	答え 1 大政奉還	徳川慶喜は、薩摩藩や長州藩などの討幕派が武力で幕府を倒そうとする動きを察知し、自ら政権を朝廷に返すことで、徳川家が参加する形での穏やかな新政府の設立を狙いました。この政権返上の手続きを大政奉還と呼びます。
問5	答え 1 徳川慶喜は武力による討幕を回避するために政権を朝廷に返上したが、直後に明治天皇が政権の樹立を宣言したことで、幕府は完全に消滅した。	大政奉還は倒幕派から武力討伐の口実を奪うための高度な政治的策略でした。しかし、その直後に朝廷側が「王政復古の大号令」を発し、天皇を中心とする新政府の樹立を宣言したことで、慶喜の思惑とは異なり、徳川家は政治から排除されることとなりました。選択肢にある「版籍奉還」や「廃藩置県」は、大政奉還よりも後の明治政府による中央集権化のプロセスです。
問6	答え 2 大老の井伊直弼が暗殺された桜田門外の変	桜田門外の変は1860年に発生しました。選択肢にある蛸社の獄は1839年、大政奉還は1867年、版籍奉還は明治維新後の1869年の出来事です。条約締結後の政局の混乱の中で起きた事件であることを時系列で把握しておく必要があります。
問7	答え 3 領事裁判権	この制度は、日本国内での事件に対して日本の司法権が及ばないことを意味しており、国家としての主権を損なう「不平等条約」の代表的な項目です。同様の権利は「治外法権」とも呼ばれ、明治政府にとってはこの撤廃が外交上の大きな課題となりました。なお、選択肢にある「関税自主権」も同条約で失われた権利ですが、こちらは貿易に関わる内容です。
問8	答え 3 薩長同盟	幕府を打倒するために、土佐藩出身の坂本龍馬や中岡慎太郎の仲介により、長州藩の木戸孝允（桂小五郎）と薩摩藩の西郷隆盛らが軍事同盟を結びました。この提携が大きな力となり、後の大政奉還や明治維新の達成へとつながりました。
問9	答え 1 イギリスが清に勝利して南京条約を結び、香港の割譲や5つの港の開港を認めさせたアヘン戦争	日本の天保の改革（1841年～）とほぼ同時期の1840年にアヘン戦争が始まりました。この戦争で清がイギリスに敗北し、不平等な南京条約を締結したというニュースは、オランダ船などを通じて江戸幕府にも伝えられました。大国である清の敗北を知った幕府は大きな衝撃を受け、それまでの強硬な「異国船打払令」を緩和し、外国船に燃料や水を与える「薪水給与令」を出すなど、外交政策に影響を与えました。
問10	答え 3 イギリスの綿織物をインドに売り、インドから清へアヘンを輸出させることで、代金としての銀が清からインド、そしてイギリスへと流れるようにした。	当初、イギリスは清から茶や絹織物を大量に輸入していましたが、清がイギリス製品をあまり必要としなかったため、支払いのための銀がイギリスから清へ大量に流出していました。そこでイギリスは、植民地のインドを介入させ、インド産のアヘンを清に、イギリス産の綿織物をインドに売ることで、商品の代金（銀）が逆方向に流れる仕組みを作り、貿易赤字を解消しようとしました。
問11	答え 4 安政の大獄	井伊直弼は、条約の違勅調印を批判した吉田松陰や橋本左内らを弾圧しました。これを安政の大獄といいます。桜田門外の変は、この弾圧に反発した水戸藩の元藩士らが井伊直弼を暗殺した事件です。
問12	答え 1 神戸	日米修好通商条約で指定された「兵庫」という地名は、現在の神戸市兵庫区周辺を指していましたが、幕府は住民との衝突を避けるために、当時はまだ人家の少なかった神戸村（現在の神戸市中央区周辺）を実際の開港地として選びました。これが現在の神戸港の始まりです。
問13	答え 4 日米修好通商条約	1854年に結ばれた日米和親条約は開国（寄港地の提供）を目的としていましたが、1858年の日米修好通商条約は本格的な貿易の開始を目的とした条約です。この条約に基づき、日本は函館、神奈川（横浜）、長崎、兵庫、新潟の5港を開港しました。